

- 代表者 会頭 宮島 清一
- 設立年月日 1934(昭和9)年8月4日
- 会員数 1,247事業所(令和3年3月1日現在)
- 年会費 法人・団体 12,000円(4口)以上  
個人 6,000円(2口)以上  
※1口3,000円
- 事務局所在地 唐津市大名小路1-54  
唐津商工会館1階
- 事務局 TEL 0955-72-5141
- 事務局 Email kcci@karatsu.or.jp
- ホームページ http://www.karatsu.or.jp/



唐津商工会館全景



1階ロビー

## 設立経緯

唐津商工会議所は、地域の商工業者が協力し合い、地域経済及び個別企業の発展と経済活動を営むのに最適な環境づくりを進めるための総合経済団体として、昭和9年に25名で発足しました。

商工会議所は、全国に515(令和3年3月現在)の地域、また世界各国にも設置されており、それぞれの地域で活動しています。

## 活動実績

姉妹商工会議所締結をしている韓国麗水商工会議所、唐津市が友好姉妹都市締結をしている中国揚州市等との視察団・使節団受け入れおよび派遣など、諸外国との交流を積極的に展開して、海外にも活動が大きく伸びています。

## 団体紹介

唐津商工会議所は、当地域の総合経済団体として、唐津地域の多くの会員の皆様方のご支援ご協力のもと、会員の方の声を反映して、行政等への陳情を行うなど、一企業では解決できない経済問題や、地域社会の基盤づくりと事業経営に必要な環境づくりに取り組んでいます。

また、金融・税務経営等の相談指導や従業員の福利厚生の充実など、幅広いお手伝いもしています。経営者や従業員の能力開発を目的として新入社員、中堅社員、女子社員、営業マン、パート、管理職、経営者などを対象とした各種研修会等も開催しており好評を頂いています。会員事業所ばかりでなく、一般の事業所もご活用いただけるサービスもありますので、ぜひご利用下さい。

下部組織としては次世代を担う、若手経営者や後継者で構成された青年部や女性の経営者・役員をメンバーとする女性会等を設置し、商工会議所本体では行っていない様々な活動も行っています。

- 代表者 会長 宮崎 卓
- 設立年月日 1999(平成11)年5月1日
- 会員数 36名
- 年会費 3,000円
- 事務局所在地 唐津市鎮西町早田2092-1
- 事務局 TEL 0955-82-1318(携帯090-4348-7566)
- 事務局 Email yama619@netfour.ne.jp
- ホームページ http://buneiou.com



武寧王生誕の地 除幕式とオビヤ浦の清掃活動など

## 設立経緯

唐津市鎮西町加唐島は、日本書紀に書かれている百済25代武寧王の生誕の島です。武寧王は、日本文化の黎明期に大きな影響を及ぼしていて、陶磁器も玄界灘を渡ってきています。この共通する文化を生かそうと1988年に組織された民間団体「サバルロード(陶磁器の道)」が中心となり、日韓海峡シンポジウムを開催するなど両国の親善に努めるという気運が高まっています。

そのような折、韓国公州市宋山里古墳群から武寧王陵が発見され、加唐島での武寧王生誕説が史実となりました。それを受け1998年(平成10年)「武寧王生誕記念碑建立発起人会」が発足しました。

この会が前身ですが、その後、名称を「武寧王交流鎮西町実行委員会」(1999年、H11)、「武寧王交流唐津市実行委員会」(2005年、H17)、「まつろ・百済武寧王国際ネットワーク協議会」(2014年、H26)と変更し、現在に至っています。

## 活動実績

武寧王の生誕地とされている唐津市鎮西町加唐島を中心に韓国の公州武寧王ネットワーク協議会との交流を行っています。

- 今日、中心となる行事は、以下のとおりです。
- ①加唐島での武寧王生誕祭(毎年、6月の第1土曜日に実施)
- ②韓国、百済文化祭への参加(毎年、9月に実施)
- ③オビヤ浦の清掃

武寧王の生誕地とされているオビヤ浦には韓国からの訪問者も多く、漂着したごみなどを掃除し環境保全活動を行っています。

## 団体紹介

私たちの団体は、武寧王を縁とし、公州武寧王ネットワーク協議会、ソウル武寧王ネットワーク協議会、昆支王国際ネットワーク(大阪府羽曳野市)と連携し、草の根の日韓交流を進めています。

【発行年月日】 2021(令和3)年3月25日

【発行者】 唐津市国際交流協会  
会長 稲葉 継雄【事務局】 佐賀県唐津市町田1-8-5-502  
事務局長 井上 充  
TEL 090-4352-3712

## 唐津市国際交流協会

News Letter No.2

## 「がんばろう!KVG」

1988年(昭和63年)12月25日、「唐津ボランティアガイド(KVG)」は唐津を訪れる外国人旅行者への善意通訳の会として、唐津商工会議所のご支援を受けて発足しました。会員数37名でスタートした活動は九州の小さな城下町唐津を旅先に選んで頂いた感謝の気持ちと共に奉仕の精神で引き継がれ、現在に至っています。

これもそれぞれの活動を丁寧に取り組んできた会員皆様の努力、そしてKVGに深いご理解を示し、支えて頂いた地域の方々のおかげと、心より厚く感謝申し上げます。

発足の翌年に唐津の海で開催された第34回ヨット・スナイプ級世界選手権以来、4回のヨット世界大会における通訳ボランティア活動は小さなグループの力量をはるかに超える大仕事でしたが、会員の総力と内外からの支援のおかげで、成功裏の大会運営に大きな役割を果たすことができ、外国人対応への大きな自信となりました。

また発足3年後に始まった「七山国際溪流滝登り」を始めとする国際交流イベントへの協力、「唐津くんち」での案内所支援、「土曜夜市協賛ガレージセール」等は年間活動として続いており、数年前からは米国からのツアーグループとの交流、国際交流ホームステイ事業への支援も着々と成果を上げ、それぞれが会の歴史として刻まれています。

そして近年は、国を挙げての外国人観光客誘致のおかげで、唐津を訪れる外国人観光客は確実に増え、さらに多くの外国人が乗船したクルーズ船が唐津港に寄港するようになり、KVGが活動する場が広がり、KVGへの期待と関心も高まっています。

コロナウイルス感染拡大の影響で外国人観光客が激減している状況ではありますが、感染が早期に収束し、再び多くの外国人が訪れ、賑わいを取り戻すものと確信しております。

会員数70名程に大きく成長した「唐津ボランティアガイド(KVG)」、今後は会員一同が切磋琢磨して案内・通訳の技術を磨くとともに、ボランティア精神のより一層の涵養を目指して歩いていく所存です。今後も活動への変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。

KVG  
会長 古賀 博文  
koga hirofumi

## 「唐津に縁(ゆかり)のある映画会」を開催

「にあんちゃん」「ドルフィン・マン〜ジャック・マイヨール蒼く深い海へ」を上映

12月4日から6日の3日間、唐津市大手口センタービル3階の大手ホールに於いて当協会主催の映画会を開催しました。唐津に縁があり、外国と関係する映画で交流を拡大しようという主旨に沿って開催したものです。折しも新型コロナウイルスによる感染症が佐賀県内でも発生しており、検温、手指・会場消毒、マスク装着と感染防止対策をしての開催でした。

当初は1回65人程度の入場を予定していましたが、特に「にあんちゃん」は、遠くは岡山より、撮影地だった福島町や肥前町からの団体もあり、1回最大90人、ドルフィン・マンと合わせ3日間延べ284人の鑑賞者となりました。

今回は、映画と縁のある地元の人に語り部として「思い出話」をして頂くのが特徴でした。初日のにあんちゃんでは、映画の発端となった日記の原作者安本末子さんの肥前町入野小学校での同級生山口駿一さん、2日目のドルフィン・マンでは、ジャックと唐津の海で潜った佐志の高島篤志さん、ジャックの定宿だった東唐津の大河内はるみさん、最終日は鯛の鼻炭鉱での撮影を中学生当時見学していた福島町の本川浩二さんたちに、当時の裏話等を披露して頂き好評を得ました。

今回は無料として開催しましたが、活動資金カンパ箱に3日間で8万7千円を超える思いがけない募金が集まりました。鑑賞者の皆様と共にコロナ防疫に対応してくれたスタッフ一同に感謝します。



マスク姿の会場風景



受付の様子



語り部の山口さん

